

修正案第1号

平成26年6月20日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

発議者	山田正弘	発議者	山田弘己
〃	上原しのぶ	〃	伊木まり子
〃	下村晴意	〃	塩見牧子
〃	吉波伸治	〃	西山洋竜
〃	桑原義隆	〃	山田耕三

議案第44号第5次生駒市総合計画後期基本計画を定めることについてに対する修正の動議について

このことについて、地方自治法第115条の3及び生駒市議会会議規則第16条の規定により、別紙のとおり案文を添え修正案を提出いたします。

(別紙)

議案第44号第5次生駒市総合計画後期基本計画を定めることについて  
に対する修正案

議案第44号第5次生駒市総合計画後期基本計画を定めることについての一部を次のように修正する。

議案第44号の別冊第5次生駒市総合計画後期基本計画（以下「基本計画」という。）の目次中「3R（リデュース・リユース・リサイクル）」を「5R（リデュース・リフューズ・リユース・リペア・リサイクル）」に改める。

基本計画の小分野3-(3)-①を次のように改める。

4年後のまち

- ① 5R(リデュース、リフューズ、リユース、リペア、リサイクル)の意識が、市民や事業者に浸透している。
- ② ごみ排出のルールが守られ、資源化による燃やすごみの減量化が一層進んでいる。

市民等の役割分担

市民1人でできること

- ① 物はやがてごみになることを意識して、買物行動をする。
- ② マイバッグを持参して買い物をし、レジ袋の排出抑制に努める。
- ② 1 場所・時間など決められたごみ出しのルールを守り、分別に取り組む。

市民2人以上でできること

- ① 1 ごみ減量及び陶磁器や資源ごみの回収などのリユース・リサイクルについての自主的な活動を行う。
- ② 1 市民団体等が自らごみの分別を徹底する。

事業者でできること

- ① 1 再生資源を用いた商品やリサイクルしやすい商品の開発を行う。
- ② 1 簡易包装による製品の出荷などを行う。
- ③ 1 環境に配慮した商品を取り扱う。
- ④ 1 商品の簡易包装、レジ袋の有料化、使い捨て品の使用・販売の自粛、詰め替え商品の積極的な販売、製品の修理サービス、広告・事務用紙の紙使用抑制などに努める。
- ② 1 ごみ排出のルールを守り、分別に取り組む。

行政の4年間の主な取組

- ① 1 資源ごみのリサイクル方法やごみ減量効果を広報紙等で分かりやすく周知します。(環境事業課)
- ① 2 市民一人ひとりのごみ減量化やリサイクルなどについての意識を高めるため、学校等での環境教育の充実を図ります。(環境事業課)
- ① 3 資源ごみの適正な分別、回収するシステムの整備を推進し、リサイクル拠点の整備を図ります。(環境事業課)
- ① 4 ごみ減量・発生抑制に関する啓発活動や情報提供を行います。(環境事業課)
- ① 5 ごみ減量・発生抑制に関する市民活動を行いやすい環境の整備、活動支援を行います。(環境事業課)
- ① 6 事業者が積極的に行うごみ減量・発生抑制の取組(事業等)を支援します。(環境事業課)
- ② 1 環境負荷の低い、柔軟で効率的なごみ収集処理システムの構築を図ります。(環境事業課)
- ② 2 環境フェスティバルなどのイベントやどこでも講座などを通じて、ごみの適正な処理についての啓発・指導を行います。(環境事業課)
- ② 3 家庭系ごみの有料制を導入し、燃やすごみの減量を図ります。(環境事業課)
- ② 4 清掃リレーセンター及び清掃センターの処理能力の維持・向上を図りながら、施設の適正な管理・運営に努めます。(環境事業課)
- ② 5 市民が行う生ごみ減量のための取組を支援します。(環境事業課)

※1 5R:Reduce(リデュース=発生抑制)、Refuse(リフューズ=拒否)、Reuse(リユース=再使用)、Repair(リペア=修理)、Recycle(リサイクル=再生利用)の5つの頭文字のRからなる言葉。廃棄物をできるだけ出さない社会をつくるための基本的な考え方のこと。

基本計画の小分野 5-(3)-①中

「

小分野 5-(3)-①	企業立地
-------------	------

」

を

「

小分野 5-(3)-①	企業立地 【重点分野】
-------------	-------------

」

に改める。